# 御 座 山 山 行 記 録

| 目的地 | 御座山（おぐらさん） | 期　日 | 平成１８年１１月１３日（月） |
|---|---|---|---|
| 山行人 | 笠原正雄・笠原澄子 | 特　記 | 360 度絶好展望の山。山パノラマに感激。 |

| 地　点　名 | （着）～（発） | 天候 | 記　　事 |
|---|---|---|---|
| 上野村国民宿舎「やまびこ荘」 | 午前 6:00 発 | 晴 | 明るくなってから上野村国民宿舎を出発。出掛けフロントガラスが凍っていた。道路の水溜りも氷膜が張っている所もあった。上野小海線で三岐の三叉路で標識を見誤り、御巣鷹の尾根方向に進入してしまった。落石行き止まりで引返し、ぶどう峠方向に復帰する。ロスタイム 40 分程度。<br>ぶどう峠で車を降りてこの山を見る。左手に八ヶ岳の上部が白い。 |
| 白岩･高原野菜畑<br>上　登　山　口 | 8:15 発 | 〃 | 野菜畑への道は進入自粛注意の標識がある。しかし途中は「御座山→」の案内板が導いてくれる。数台の駐車スペースに登山ポストあり、足立・京都№の車。もう一台足立№車から同年代夫婦が先行して行った。出だしは唐松落葉の道で、尾根取り付きの緩登。15 分で尾根に上がる。広い快適な道。唐松に広葉落ち葉が混じって来た。 |
| 長者の森分岐 | 8:45 | 〃 | 広い鞍部で左からの長者の森からの道と合せる。 |
| 一　枚　脱　ぐ | 9:00 | 〃 | 陽も上がって来て､暖かくなりコース上で一枚脱ぐ。この後登りが始まる。 |
| 夫婦に追い着く | 9:05 | 〃 | 登り左折点に大きな岩台地があり、上がって見たがそれ程の展望は無い。 |
| 見　晴　し　台 | 9:15 | 〃 | 標高 1,750m。右方向に北アルプスの白い峰々が見える。期待が膨らんで来る。この後、キジ休みで再び夫婦に先行される。しばらくすると陽のたたらない所では、落ち葉の道が落下樹氷と霜とで白くなってきた。 |
| 前　衛　峰 | 9:55 | 〃 | ５分ほど手前で標高点石柱を経て、標高 1,992m。山頂はもうひと山だ。その北斜面に樹氷が見える。ここから急降下となる。 |
| 鞍　部 | 10:00 | 〃 | 大きく降ろされて、右からのうだの沢・下新井コースと合流。６時歩き出しと言う男３人下山隊と合う。頂への登りの途中でもう一人と行き交う。 |
| 御　座　山　頂 | 10:25 着 | 〃 | 直前にまだ新しい避難小屋。岩稜山頂に出る。栗生上山の静岡男２人、足立№車夫婦、この奥さんがここで３百名山完全達成と言うので、持っていたクラッカーを鳴らし祝福してやる。八ヶ岳北面が全て見える。秩父の山・南と北アルプス・頚城三山・苗場・三国山脈・日光連山と申し分の無い展望だ。隣に両神山、眼下に昨日のトモ岩と妙義山。目を凝らせば槍の穂先だけが黒い。岩稜の北側は風があたらない。下りてランチタイム。 |
| 下　山　開　始 | 11:45 発 | 〃 | 風が収まって来た。もう一度山頂を撮影。神奈川からの女２人が好展望に歓声を上げながら到着。分かる範囲の山の名を伝える。 |
| 前　衛　峰 | 12:15 | 〃 | 暖かくなって来た。ベストを脱ぐ。 |
| コース上で休む | 1:10 | 〃 | 終わりも近いが、日差しを受けるここで休む。広いトラバース道の落ち葉に腰を下ろし、宿で出た十石みそまんじゅうを食べる。 |
| 駐車地点着 | 1:30 | 〃 | 最後の一台になっていた。北相木村は紅葉真っ盛り。途中でこの山が良く見えて撮影する。小海からＲ141 で佐久市に向かう。 |
| 与　板　着 | 7:40 | 〃 | 佐久ＩＣ～豊田飯山ＩＣ間高速通勤割引利用。Ｒ117 を経て帰宅。 |

西上州の山地図を見ていて、この山に注目した。地籍は長野県になる。標高は 2,112mだが、歩き出しの標高が高くその差はおよそ 650mとさほどでは無い。しかし、独立峰でさえぎるものは無い。快晴に恵まれ、冠雪のアルプスをはじめ、素晴らしい眺めであった。また、月曜日であったことからか、入山者は少なく静かな山旅だった。